

【事業進捗総括】 事業名：将来的なキャンパス制導入を見据えた連携モデルの構築

取組

- ◆ 遠隔先進校の視察を通じた知見をもとにして、ICTを活用した学校間連携としての遠隔による補講の試行
- ◆ 部活動を通じた生徒並びに教員の交流による学校間連携

成果

- ◆ 遠隔授業の手法と成果を検討するために、夏季補講2回、秋補講3回、冬季補講1回を行いその効果を検討した。
- ◆ 2部活で週2回程度の定期的な活動、3部活で11回程度の活動や大会への参加をし、部活動の可能性を広げた。

【我が校自慢】

- ◆ 賀茂地区唯一の理数科設置校で、理数教育や進路指導に力を入れている。
- ◆ 部活動が充実していて、運動部・文化部ともに地域に密着した活動から全国規模での活動まで、幅広く数多くの成果をおさめている。
- ◆ 比較的新しい校舎でバリアフリーに対応している。エレベーター完備！

【課題】

- ・ 今後検討する内容が多岐にわたるため、整理整頓の必要性
- ・ 学校間の日程調整や補講の内容の調整
- ・ 移動の問題と安全面や自然災害時の危機管理の対応

【取組の具体的内容】

＜概要＞

- ・ ICTを用いた、オンライン会議により、機動的な会議が可能になった。また、専門部会が自律的に会議を行った。（年間26回実施）
- ・ 夏休み、2学期放課後、冬休みを利用して、学校間で遠隔進学補講試行した。効果的な授業方法や機材の利用方法などを研究した。
- ・ 学校間連携による合同の部活動を実施した。対面での練習や大会参加だけでなく、ミーティングをオンラインで行うなどの取り組みができた。

＜指導上の工夫＞

- ・ 管理職と専門部会長との目線合わせをすることで、自立的な会議の開催が可能となった。
- ・ 授業スタイルによって、どのような機材が効果的かを検討することができた。
- ・ 合同での部活動では、活動時間や活動場所を工夫することで効果があった。



【事業終了後も自走化するための方策】

- ・ 学校間における行事などの最大公約数的な取り組みの充実
- ・ ICT機器の拡充と、活用するための教員のICT活用スキルの向上およびその伝承